

# 進化する株式検索のWeb技術

株式検索サイトは、ネット文化の発展とともに進化を続けている。かつては、書き込むだけだった掲示板も、今では、“なぜ話題か”、“売りが買いか”わかるようになってきている。また、自然言語処理を利用した最新の検索技術を駆使して、ブログなどから株のクチコミ情報を調べること、今後の展開として考えられるだろう。

## 株式検索サイトの進化

株式検索サイトはネット文化の発展とともに進化を続けている。単純に掲示板やブログに話題を書き込むサイトから発展して、“何が話題か”、“なぜ重要か”、“売りが買いか”がわかるサイトが増え始めた。

例えば、2007年2月に開設されたYahooファイナンスの「株のネタ帳」(図表1)は、個別銘柄の情報を書き込むための掲示板だが、同時にその根拠となるリンクを貼り付ける仕組みがとられている。また、注目度が表示されており、話題性がわかるようになっている。

図表1 株のネタ帳



<http://kabuneta.yahoo.co.jp/>

銘柄とともにTOP画面に羅列されていて、今何が話題かわかるようになっている。

図表2 みんなの株式



<http://minkabu.jp/>

## それらを支える日本のネット文化

これら書き込みサイトが活発なのは日本の特徴だ。米国と日本でインターネットの利用方法を比べてみると、日本はネット掲示板やブログの利用度合が高く、米国と比べて倍以上という調査結果がある(図表3)。

このような日本固有の特徴を背景に考えた場合、数多くあるブログからクチコミ情報をピックアップすることも有効な手段である。実際、ブログのホットな話題を取り上げているサイトにkizasiチャンネルがある。このサイト内には株チャンネルがあり、銘柄を検索するとブログでの盛り上がり进行时列で見ることができる(図表4)。これを駆使すれば、

### Writer's Profile



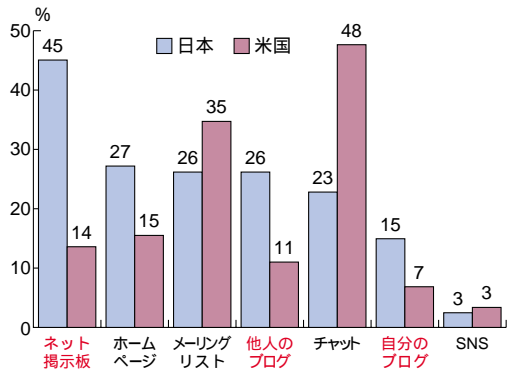
竹内源  
Hajime Takeuchi

金融ITイノベーション研究部  
主任研究員

専門は資産運用系システム  
[focus@nri.co.jp](mailto:focus@nri.co.jp)

話題の株式銘柄についてアラートを出すことも可能になるだろう。

図表3 日本と米国のネット利用の違い



(出所) ネットワークと国民生活に関する調査(総務省)よりNRI作成

図表4 kizasiチャンネル



<http://kizasi.jp/channel/stock/>

### 検索エンジンの新潮流

ネット文化の発展とともに検索エンジンも進化を続けている。Google以後の次世代検索エンジンでは、書いた人間の質問の意味を理解し、ふさわしい回答を集めてくると言われている。この要素技術には、自然言語処理が必要であり、実際に米国にはいくつかその試みを行っているサイトがある<sup>1)</sup>。

日本にも自然言語処理を用いて、クチコミ情報をブログから検索するサイトが存在する。その中でも、BuzzTunes(図表5)は日

図表5 BuzzTunes



<http://www.bztunes.jp/>

本語がもつ文法のあいまいさに即した機能素解析という先進的な技術を利用している。このサイトで何かのキーワードを検索すると、そのキーワードに対して各ブログがポジティブかネガティブかの選別を行う。更に、検索した全ブログの集計からポジティブ・ネガティブのどちらに、どの程度傾いているか判断できる仕組みになっている。

### 要素技術を組み合わせる付加価値を生む

これまで紹介してきた要素技術を組み合わせれば、新たな付加価値を生むことができるだろう。例えば、ポジティブ・ネガティブ判定を株式ブログ検索サイトに追加すると、利便性が更に向上する。株価は上がるか下がるか分からないので、多くのブログがポジティブで盛り上がっているならば株価上昇の兆候というように、“方向性のある”アラームを出すことが可能になるからだ。

このような情報は、ニュースとして機関投資家でも利用できるのではないだろうか<sup>2)</sup>。米国ではアルゴリズムトレードでのリアルタイムニュースの利用が始まっている<sup>3)</sup>。日本であれば更に、株式検索サイトやブログなどの情報も加えて、話題になっている銘柄を“売りが買いか”に翻訳し、トレードの参考に利用することも一案だろう。

### NOTE

- 1) “<http://www.hakia.com/>”はその一例
- 2) 角田充弘 “人に代わってニュースを読むコンピュータ”、金融ITフォーカス2006年7月号
- 3) “NEWS ALERT - Apama Algo Trading Integrated With Dow Jones' Electronic Feed”, Securities Industry News Online, June 12, 2007